



じんけんを「他人ごと」から「自分ごと」へ

OYAOYA 通信



学びのホームグラウンド じんけん楽習塾



4 回目報告 6月27日 JK ビジネスや風俗で働く若者の、ネガティブな経験を減らす社会的/法的条件要友紀子【性風俗で働く人々の健康と安全のために活動するグループ SWASH】

じんけん楽習塾 2018 年度 4 回目は「性風俗で働く人々の健康と安全のために活動するグループ SWASH」の要友紀子さんにお話をいただきました。



SWASHの活動紹介から学ぶ

はじめにSWASHの活動について紹介がありました。この紹介を聞くだけで、自分がいかに性風俗のことを知らないか気づかされました。

▶「性感染症予防」—啓発資料を実際に性風俗で働く人たちに目につくように、待機室におくなどの工夫をしているそうです。▶「現場講習会」—危険な客から身を守る方法などの講習。性風俗の店はみんな悪質とのイメージがあったのですが、実際に悪質だと思われるのは 1/3 ぐらいではないかとのこと。▶「相談カフェ」—シングルマザーの大変さ、多重債務の問題、生活保護についてなど、セックスワーカー当事者同士が学び合うそうです。外部から講師がきてではなく、自分たちが学び合う、助け合うという点が画期的だと思いました。▶「スキルシェア、ワークショップ」—人気風俗嬢を招いてのワークショップ、▶「風俗店オーナー対象の保健師研修会」—働く女性たちのメンタルヘルスとストーカー対策が店長たちの 2 大ニーズだそうです。▶「アドボカシー活動」▶「セックスワーカー国際ネットワーク」の活動をしているそうです。

現場・当事者を大切にした支援

話を聞きながら、現場・当事者を大切にした支援をしているのだと感心しました。外国人の問題では夜中にあいているバーをしりして、実際に知り合いになって話を聞いたりするそうです。強制送還がこわいので、DV被害を受けていても婚姻関係

を破たんさせたくなく、転々と友人などの家を渡り歩きながら生活している外国人セックスワーカーがいたりするそうです。

若い女性の問題では、「強い働きかけ」に弱く、AV強要などの被害が起きています。それに対して支援者がまた、「あんなところ行っただってアカン」と強い働きかけだけではだめだと、思いました。自分の頭で考えさせられる支援が必要だということのに感心しました。

また、真面目そうな人は真面目そうな人に行く、逆にヤンキー系の人はヤンキー系の店で働くという話もなるほどと思いました。支援もそうかもしれません。風俗の世界にいる人たち当事者の中に、支援者としてのエージェントを増やしていくことが大切だという話にも納得させられました。

他にも若い男性の被害の問題(性被害にもあうし、店の摘発で身代わり店長となって捕まるなど)、性風俗が規制が強まりアンダーグラウンド化していく危険、性風俗の前についていた仕事が介護職が多く、その仕事のきつさ、条件の悪さ(シングルで子どもを育てるなんてとても無理と感じました)など、たくさんのお話を聞きました。何よりも、自分の中にあるセックスワークに対する「偏見」はどこからきてるのだろうかと思った回でした。

(文責 李(い)ぼんみ)



連絡

宣伝したいチラシ等ありましたらお持ちください。おにぎり、パンなどの軽食はOKです。毎回ふりかえり用紙をくばります。通信に反映させたいと思います。(公開だめなものはオープンにしません)写真や通信は人権協会のホームページなどで使用する場合があります。なるべく個人が特定しにくいものをご提供していますが、困るという方は事務局に連絡ください。急がれる方は先に退席してください。じんけん楽習塾が終わってから、簡単な懇親会を毎回予定しています。終了時に声をかけますので、参加可能な方は会場に残ってください。

★★★★★ みんなの感想 ★★★★★

◆「福祉VS風俗」では解決しない構造がわかりやすく、「貧困＝お金」ではないとも思いました。詩場所を求めている人も多く、強い働きかけがコントロールでしかない場合もあるなど、とにかくたくさん情報をありがとうございました。自分と似た人とつながるロールモデルにすることもわかり、自分のカラーを自覚しておくことが、サポートにつながると思いました。若い人に向けて自分で考えるための支援をどうするか大切な課題です。

◆性的マイノリティ問題についても、日本はあまりにも性に対してクローズであるということにつながっているように感じました。絶対になくなる性風俗を抑止するのではなく、あるものとして認めようでの支援が必要であると考えさせられました。誠実に話される講師先生の姿に、セックスワーカーという仕事に対する見方がかわりました。ありがとうございました。(Ke-Ko)

◆とても内容が濃く、現場の実体験を聞いて良かったです。支援の対象がセックスワークだけでなく、すべての人に対して支援ができる方法で、人と接しているなあと感じました。

★自分の知識のなだや現実とのギャップの大きさに驚きました。SWに関する差別性に対する相談があった場合などの対応については当事者のお話をきく経験は必要だと思いました。

◆知らないことばかりで、裏社会の一面を見た思いです。すごい話ばかりで引き込まれた2時間でした。実際に現場にアウトリーチし、体験される講師のパワーに脱帽です。資料の作りこみも内容もすごい一言です。今後このテーマに関心を持っていきたいと思いました。

◆今まで知らなかった・・・というより詳しく考えていなかったことを知ることができました。様々な問題につながっていると思いました。支援サポートの仕方についてのお話はすごく考えさせられました。

◆「ウーーン」というのが正直な感想です。このような問題に取り組んでいる人たちがいることに敬意を感じます。書籍が出たらぜひ読みたいと思います。

◆知らない世界をしりました。ありがとうございました。女性のセックスワーカーで知的障害や発達障害を持っている方被害にもあいやすいとききました。そこに向けての活動もされておられますか？

◆♪ 人権と セックスワーカーの むつかしさ ♪

◆まるで大学の論文をわかりやすい構造で教えてもらっているようでとてもよかったですし、かなめさんがいかにどうして問題意識を感じているというのが、さらに現場についてよくわかりました。(ハリム)

◆今まで見聞きしたことのない世界の話で、分かりづらい表現などもありましたが、知らなかったことを知ることができ、とてもいい機会となりました。

◆既視感のある話というのが改めて、フに落ちる話が多かったです。・「強い言葉」で押す“支援”は当事者をエンパワーしない。・当事者が選ぶ「支援者」は合性、似たもの(SWASHIに来る人は“まじめ”な人)→ヤンキー系はヤンキー系に。色んな人が入れた方がいい。・アングラ化すると介入できない。上からつぶすとアングラ化する。・ガールズバーの摘発なんかで、若い男性が「店長」で出てくる謎が解けました…。自分が中学・高校の頃(30数年前です)、荒れている子の中でもしんどい子たちは風俗の世界に入っていることが多かったです。だから何ってうまく言えませんが、すぐ隣にあって、でも、中のことがよくわからない。うっすらと感じていたことが、あ、そういうことだったのかなーと思いたるような、そういう時間でした。(抽象的ですがいいです)

◆JKビジネスに負けるな！とは少女に言っているのがひどいと思う。この言葉の限界を語ってくれて良かった。



2018年度ルール

やさしい気持ちでお互いを尊重 / オールOK / プリーズ / リラックスすれば理加が深まる / ズッバっとOK / ずっつけOK / ずっと考えても思いつかない時はパスOK / 無理をせずみんな楽しく学びましょう / ほったらかしにしない / うそいつわりはなし / 類のない時に使用 / 守秘 /